

授業科目名	【G】	プレゼミⅡ	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【EF】	プレゼミⅡ	必修		【EF】1		【EF】2
科目区分	専門科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単独	【G】 【EF】					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	法的思考とディスカッション				担当者	吉田 直起	
授業概要	【概要】	本プレゼミでは、ディスカッションやロールプレイを通して、論理的に自分の考えを説得的に説明する力を養う。					
	【到達目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・法学、法律学で用いられる思考様式の基礎を身につける。 ・獲得した情報を分類し、それぞれの関係性を考慮し位置づける。 ・書き手(話し手)の意図を適切に把握する。 ・説得的なコミュニケーションを習得する。 					
履修条件	特になし						
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)					
他科目との関連性	特になし						
教科書	特になし						
参考書	適宜授業中に指示する。						
評価方法	授業参加と発表・課題提出で85%、積極的な発言(コメント)などの授業貢献15%で評価する。						
フィードバック方法	提出した課題にコメントをし、フィードバックを行う						
評価基準	<p>授業参加・課題提出を規定回数おこない、さらに個別報告をおこなった者を「B」または「C」。</p> <p>上記に加え、ディスカッションで積極的に発言し授業に貢献した者を「A」または「S」。</p> <p>授業参加・課題の提出が充分とは言えないものを「D」もしくは「E」として評価する。授業参加回数(課題の未提出含む)が著しく少ないなど評価不能の場合はFとする。</p>						
その他	<p>正当な理由の無い遅刻、途中入退室は認めない。</p> <p>私語、携帯電話の使用は禁止とする。その他授業態度が著しく悪い者は退出を命じ、単位不認定とする。</p>						

授業 科目名	【G】	プレゼミⅡ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【EF】	プレゼミⅡ	必修		【EF】1		【EF】2
授業内容	<p>【第1回】ガイダンス 【第2回】論証と説得的表現 【第3回】主張とリーズニング 【第4回】ディスカッションの方法 【第5回】～【第10回】グループディスカッション グループディスカッションでは「司会」「賛成」「反対」に分かれ、設定したトピック(政治・教育・メディア・ジェンダーetc)について議論する。 【第11回】～【第14回】個別報告 個別報告では個々の参加者が任意のトピックについての報告をおこない、その後参加者全体で質疑応答や報告の形式について検討する。担当時間についてはおおよそ30分を目安とするが、受講者数によって適宜変更する。 【第15回】まとめ</p> <p>※その他、複数回簡単な課題を与える。</p>						
予習内容	<p>ディスカッションであつかうトピックについての最低限の情報を事前に調べること。 授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください。</p>						
復習内容	<p>説得的なコミュニケーション能力や論理的思考は一朝一夕で身につくものではない。本プレゼミで紹介する技法を普段の生活や他の講義を受講する際に用い トレーニングすること。 授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください。</p>						

科目コード B000-2-Y